

2014年度 工学部建築学科(デザインコース)教育課程表 (2006年度から2013年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

		1年次						2年次						3年次						4年次						卒業 要件 単位数	
		1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター				
		授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者		
基礎 科目		微分積分学	×4	〔休講〕	微分積分学	×4	〔休講〕	微分積分学	4	鈴木(敬)	微分積分学	4	永野 鈴木(友)													20 以上	
		微分積分学入門	4	矢島 何森	微分積分学	×4	何森	微分積分学	×4	山崎(教) 鈴木(友)	微分積分学	4	永野 鈴木(友)														
		幾何学	×4	〔休講〕	幾何学	4	〔休講〕	微分積分学	×4	鈴木(友)	確率・統計	2	儀我	物理学	2	松田	物理学	2	矢崎								
		物理学概説	○4	宇佐見	物理学A	×2	宇佐見	物理学B	2	田村	物理学実験	×1	*1	物理学	2	〔休講〕	物理学	2	〔休講〕	物理学	×1	〔休講〕	物理学実験	×1	〔有働 小谷〕		
					幾何学	×4	小林	物理学実験	×1	*1	化学実験	×1	岩倉	物理学実験	×1	〔休講〕	物理学実験	×1	〔休講〕								
					物理学概説	○4	立山	基礎化学	2	亀山	基礎化学	2	亀山														
必修 科目		情報処理演習	1	日比野	情報処理演習	1	小林	基礎化学	4	高樺	幾何学	×2	相澤	代数学概論	2	本間										61	
					物理学A	×2	宇佐見	物理学B	2	田村	物理学実験	×1	*1	物理学	2	〔休講〕	物理学	2	〔休講〕								
					幾何学	×4	小林	物理学実験	×1	*1	化学実験	×1	岩倉	物理学実験	×1	〔休講〕	物理学実験	×1	〔休講〕								
					物理学概説	○4	立山	基礎化学	2	亀山	基礎化学	2	亀山														
					幾何学	×4	小林	物理学実験	×1	*1	化学実験	×1	岩倉	物理学実験	×1	〔休講〕	物理学実験	×1	〔休講〕								
					物理学概説	○4	立山	基礎化学	2	亀山	基礎化学	2	亀山														
専攻 科目	選択 科目		建築グラフィックス 及び演習	○3	津田	設計製図	○3	*3 島崎	建築環境工学 及び演習	○3	安田	地球環境建築	○2	岩田	建築法規	○2	川越	建築の生産	○2	高橋	卒業研究(通年)			○6	専任全員	15 以上 (含む 関連 科目 8単位)	
			建築のデザイン	○2	内田	建築の構工法	○2	岩田	設計製図	○3	*4	陣内	建築デザイン	○3	岩田	建築英語	○2	フォーク	建築英語	○2	フォーク	卒研輪講(通年)			○2		専任全員
			建築の構造	○2	岩田	建築の力学 及び演習	○3	趙(衍)	建築の材料	○2	津田	建築デザイン	○3	*6	建築英語	○3	*6	建築デザイン	○3	*8							
			建築環境概論	○2	岩本 安田	建築の設備	○2	奥山	建築史A	○2	津田	建築デザイン	○3	*7	建築実験	○1	*9	建築デザイン	○1	*9							
						建築計画A	○2	中井	建築史B	○2	中井	建築デザイン	○1	*7	建築デザイン	○1	*7	建築デザイン	○1	*7							
						建築計画A	○2	中井	建築史B	○2	中井	建築デザイン	○1	*7	建築デザイン	○1	*7	建築デザイン	○1	*7							
	選択 科目		造形デザインA	1	津田	造形デザインB	2	津田 (吉田(福))	建築CG演習	1	山家 島谷部	建築情報処理	1	岩本 安田	骨組のコンピュータ 解析及び演習	3	趙(衍) 齊藤	建築都市防災	2	大熊 瀬尾	複合構造	2	木村 吉田(新)				
			建築情報処理	1	〔休講〕	建築CAD 及び演習	3	安田 島谷部	木質構造	2	坂田	建築スペース デザイン論	2	〔休講〕	鉄骨構造	2	岩田	電気設備	2	箕浦	建築情報・管理システム	2	山家				
			力と形	1	荻本 齊藤				骨組の力学 及び演習	3	島崎 岩田	建築計画B	2	山家	建築の振動解析	2	趙(衍)	建築史フィールドワーク	2	内田	都市計画	2	山家				
									基礎構造の設計 及び演習	3	石原	建築史B	2	内田	建築設計論	2	重村	建築史D	2	河東							
									環境システム計画 及び演習	3	羽生	鉄筋コンクリート構造	2	島崎	建築設計論	2	重村	建築史D	2	河東							
									骨組の力学 及び演習	3	島崎	建築史C	2	羽生	環境システム計画 及び演習	3	*14	環境システム計画 及び演習	3	*10							
関連 科目							建築環境工学 及び演習	3	荻本	建築環境・設備実験	1	*11	建築環境・設備実験	1	*11	建築環境・設備実験	1	*11	建築環境・設備実験	1	*11						
							空調設備	2	岩本	建築環境輪講	1	*12	建築環境輪講	1	*12	建築環境輪講	1	*12	建築環境輪講	1	*12						
							給排水衛生設備	2	奥山	鉄筋コンクリート構造の 設計及び演習	3	島崎	建築構造輪講	1	*13	建築構造輪講	1	*13	建築構造輪講	1	*13						

*1:相澤,白崎,坂口,清水 *2:中西,伊藤,原村,三谷,窪谷,岩本,重村,島崎,鎌田 *3:中井,津田,三笠,鈴木(信),ペラ *4:中井,津田,鈴木(信),ペラ

*5:山家,重村,三笠,猪熊,早草 *6:重村,曾我部,岡村,八島,三笠 *7:内田,重村,山家,曾我部,中井,津田,三笠 *8:曾我部,佐々木,渡瀬,柳澤 *9:岩田,荻本,島崎,趙(衍),岩本,安田,奥山,齊藤,趙(旺),寺尾

*10:岩本,安田,奥山,趙(旺),寺尾,徳弘 *11:岩本,安田,奥山,趙(旺),寺尾 *12:岩本,安田,奥山,趙(旺),寺尾 *13:岩田,荻本,島崎,趙(衍),齊藤 *14:岩本,奥山,安田,趙(旺),鎌田,徳弘

〔備考〕

1 ○印は必修科目，×印は選択必修科目，印は再履修授業科目を示す。印は新設科目を示す。

〔履修要件〕

- 基礎科目，必修科目，選択必修科目及び1年次における関連科目については，上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2年次以降の必修科目（基礎科目の必修を含む）は，FYSを修得していなければ履修することはできない。ただし，2年次の第3セメスターにFYSを修得した場合には，第4セメスターに必修科目（基礎科目の必修を含む）を履修できる。
- 3年次の「建築デザイン輪講Ⅰ・Ⅱ」は，2年以上在学していなければ履修することはできない。ただし，編入学者については別途定める。
- 他学部，他学科開講の授業科目を履修する場合には，受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。また，他学部，他学科が受講を認めない科目については履修することはできない。
- 1年間に履修登録できる単位数は，54単位を上限とし，かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする。（通年科目については，その科目の単位数を二分割し，各セメスターの単位数として換算する）。ただし，2年以上在学し，各セメスター30単位以下，年間54単位以下では卒業研究履修資格を得ることができない場合に限り，学科主任の許可を得て各セメスター30単位，年間54単位を超えて履修することができる。なお，第二外国語，選択英語，卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については，この制限を適用しない。
- 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。

〔コース制〕

- 2年次の第3セメスターの初めに学科で実施する志望コース申請により決定すること。
- その後のコース変更を希望するものは，2年次第3セメスター終了時，第4セメスター終了時点のそれぞれにおいて，それまでの学業成績等により選考を行い認める。

〔卒業研究履修資格〕

- 3年以上在学し，次の単位を含めて100単位以上を修得した者。ただし，編入学者に対しては別途認定する。
 (1) 基礎科目または全学共通科目の「自然の分野」の4単位を超える単位を含めて16単位以上。
 (2) 3年次までの必修科目（基礎科目は除く）30単位以上。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は，本学における授業科目の履修とみなし，卒業要件単位に算入することができる。なお，横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は，各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし，2012年度以前の入学者については，各セメスターの履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で，本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で，本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年以上在学し，学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目
--

- 外国語科目については，必修科目としての英語を4単位修得しなければならない。
- 専攻科目の基礎科目は，物理学概説4単位を必修とし，物理学実験，化学実験より1単位以上，及び微分積分学，微分積分学Ⅱ，物理学A，幾何学Ⅰより6単位以上含み，20単位以上修得しなければならない。ただし全学共通科目の「卒業要件単位数」を超える「自然の分野」の8単位までは基礎科目に換算することができる。
- 共通科目は，「自然の分野」「人文の分野」「社会の分野」からそれぞれ4単位，「自然の分野」「外国語科目」「FYS」以外からの8単位を含み，外国語科目4単位，FYS2単位を含めて28単位以上修得しなければならない。
- 共通科目で「卒業要件単位数」を超える単位は，関連科目に換算できる。
- 同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した（必修以外）外国語科目は，関連科目に換算できる。
- 他学部，他学科開講の専攻科目を修得した場合，この単位は関連科目に換算できる。
- 関連科目は，上記5～7の単位を含めて8単位まで選択科目の単位に換算できる。
- 総合工学プログラムから建築学科に所属された学生は，総合工学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を建築学科の専攻科目に置き換えることができる。

教育課程における標準年次の区切線について

標準年次が実線（——）で区切られている場合，原則として上位年次の授業科目は履修できません。

標準年次が破線（……）で区切られている場合，原則として上位年次の授業科目は履修できますが，

〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。